



林野庁
東北森林管理局
津軽白神森林生態系
保全センター
平成30年11月21日
No.149

第2回森林教室を開催しました

10月13日（土）西目屋村の暗門溪谷と県境の矢立峠にて、西目屋村と共催で今年度第二回目の森林教室を開催しました。早朝の冷え込みはあったものの好天に恵まれた中、村から観光情報や村内の見所の説明を受けて道の駅津軽白神ビーチにしめやを出発。午前中は、暗門溪谷にある「暗門の滝」を目指して、保安帽着用の上黄葉の遊歩道を散策し、途中はクマと思われる獣の臭いやカツラの甘い香りを感じながら、第三の滝まで概ね1時間かけ溪谷ならではの美しい景観を楽しみました。ここ数年は暗門の滝を見学するのが困難だったこともあって、参加者は滝しぶきを浴びながら、その圧倒的な自然の迫力に浸っていました。



暗門溪谷で新たな滝を発見？

その後、昼食を取って午後からは、歴史の道「矢立峠遊歩道」を散策。この周辺の国有林は、白神八甲田緑の回廊に指定されており、バス車内でも野生動植物の移動経路や生息場所を確保するため設定していることを説明。散策中は緑の回廊による動植物への配慮と天然スギの保護、歴史の探訪に関してスタッフが解説を加えながら、ゆっくりと県境を巡りました。なお、親子参加を含む参加者は今回20名でした。



県境矢立峠で歴史の道を散策

当センターでは来年度も森林教室や自然再生活動などのイベントを企画していく予定です。多くの皆様の参加をお待ちしています。（吉川）

親子木工教室を開催しました

平成30年10月20日（土）、21日（日）の両日、白神山地に関わる団体が参画した「遺産登録25周年&開館20周年記念白神山地ビジターセンター秋のふれあいデー」が青森県西目屋村にある白神山地ビジターセンター周辺で開催されました。当保全センターは白神山地への関心と理解を深めるとともに木材利用を促すため、親子による木工教室を行いました。抽選により2日間で概ね80組の親子がイスまたはプランター作成に取り組みましたが、抽選倍率は3倍を超える賑わいでした。まず所長から、青森県産スギを使用していることや間伐材利用の勧めなど説明があり、製作の注意点を伝えた後、あっという間に、釘を打つ激しい音に包まれ、熱中した面持ちで親子共同の作業が行われていました。中にはスクリーナー釘のためか真っ直ぐ打ち込めず横にはみ出すこともありましたが、スタッフの力業で事なきを得て、親子全組が木製品を完成することが出来ました。



親子木工教室の様子

今後も、多くの人に木材や自然環境への関心と理解を深めてもらうため、県民に広く世界自然遺産・白神山地を紹介する白神山地ビジターセンターと連携した取組を行っていきたいと考えています。（吉川）

修学旅行で訪れた東京都の中学生を案内しました

10月24日（水）、白神山地に位置する青森県鱒ヶ沢町の「白神の森」において、東京都文京区から来た桜蔭中学校の2年生約240名の修学旅行生に対し、白神山地と同様な原生林の魅力や森林生態系などを説明しながら林内を案内しました。これは鱒ヶ沢町にある白神の森遊山道「くろもり館」からの依頼に対応したもので、当センター職員4名と地元案内人の方々併せ10名が修学旅行のガイドを行ったものです。

散策は1時間程のコースでしたが、熊の爪痕や水源となる湧き水などを見学する中、熱心にこちらの話す内容を聞き入る生徒、修学旅行の最初の見学地に気分が高揚し仲間との女子トークが止まらない生徒がいたり、それぞれの楽しみ方で白神山地の自然を楽しんでいました。



白神山地の自然を観察する生徒

この修学旅行を機に、森林に興味もってくださることを期待したいですね。（吉川）

